

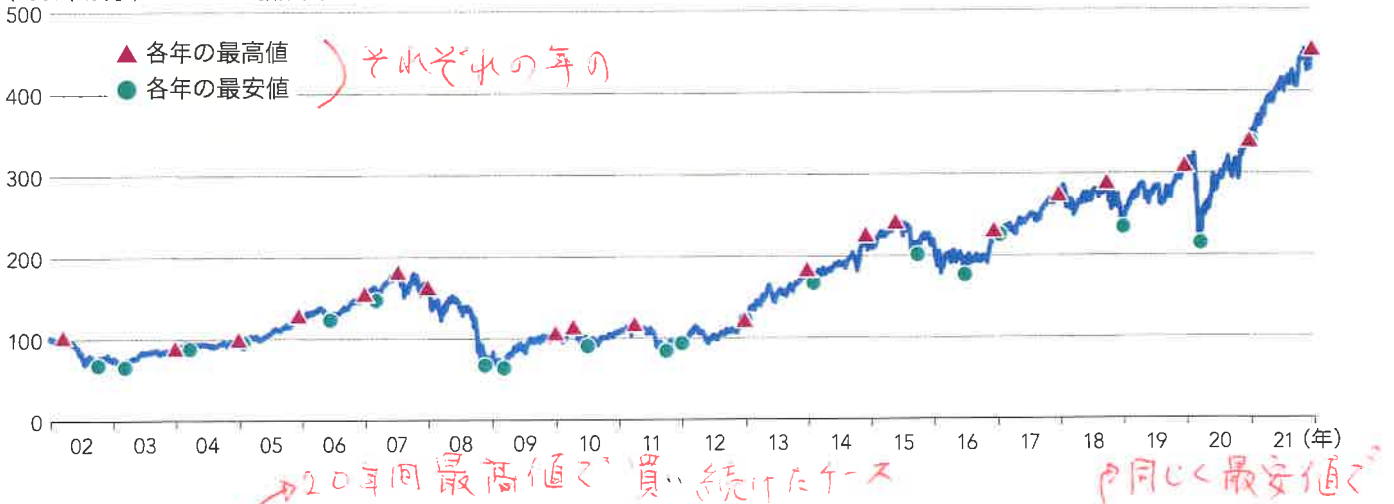
タイミングを計るお客様へ

①

- 「安く買って、高く売る」というベストな投資タイミングを事前に見極めることはできません。
- 2002年から2021年まで全世界株式に毎年100万円ずつ投資したものとして試算すると、各年の最高値で投資した場合でも最終的な評価額は、投資総額の約2.8倍になっています。
- つまり、ベストな投資タイミングをはかることよりも、投資を継続することが重要といえます。

全世界株式の推移と各年の最高値と最安値 (2001年12月末～2021年12月末)

(2001年12月末を100として指数化)



全世界株式に毎年100万円ずつ投資を行なった場合の試算 (2002年～2021年)

年	▲最高値で投資した場合			●最安値で投資した場合		
	日付	投資総額(万円)	年末評価額(万円)	日付	投資総額(万円)	年末評価額(万円)
2002年	3月19日	100	71	10月9日	100	108
2003年	12月31日	200	186	3月12日	200	268
2004年	12月29日	300	305	3月24日	300	409
2005年	12月13日	400	489	1月24日	400	657
2006年	12月28日	500	700	6月13日	500	932
2007年	7月13日	600	826	3月5日	600	1,091
2008年	1月1日	700	437	11月20日	700	629
2009年	12月31日	800	708	3月9日	800	1,042
2010年	4月14日	900	790	7月1日	900	1,145
2011年	4月6日	1,000	777	10月4日	1,000	1,122
2012年	12月31日	1,100	1,120	1月2日	1,100	1,604
2013年	12月31日	1,200	1,781	1月1日	1,200	2,557
2014年	12月5日	1,300	2,224	2月5日	1,300	3,185
2015年	5月28日	1,400	2,280	9月29日	1,400	3,245
2016年	12月15日	1,500	2,497	6月27日	1,500	3,542
2017年	12月27日	1,600	3,105	1月17日	1,600	4,385
2018年	10月1日	1,700	2,838	12月25日	1,700	3,993
2019年	12月27日	1,800	3,677	1月3日	1,800	5,166
2020年	12月31日	1,900	4,181	3月23日	1,900	5,892
2021年	12月30日	2,000	5,651	1月4日	2,000	7,956
			(約2.8倍)			(約4.0倍)
	投資総額に対する損益	+3,651		投資総額に対する損益	+5,956	
	リターン(年率)	9.1%		リターン(年率)	11.9%	

※全世界株式はMSCI ACワールド・インデックス(税引前配当再投資、円ベース)の日次リターンを用いて算出。
出所: リフィニティブのデータをもとにキャピタル・グループが作成

時間を味方にした「積立投資」の活用

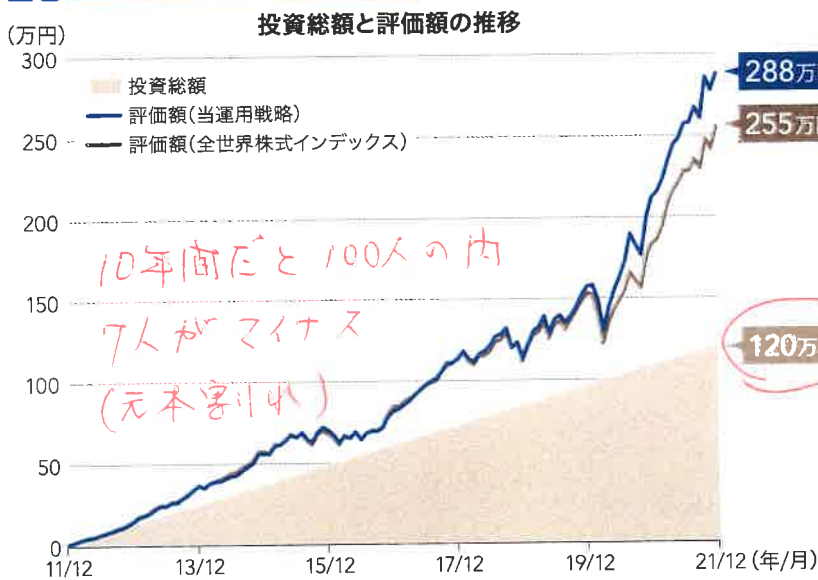
2

- 定期的に一定金額を継続して投資する積立投資*は中長期の資産形成に有効な手段です。
- 少額ずつ毎月購入することができるのでタイミングを意識することなく投資できるうえ、投資時期の分散により安定的な資産形成を目指すことができます。

毎月1万円ずつ積立てた場合の評価額とリターンの分布(試算)

(当運用戦略、全世界株式インデックスの評価額は2021年12月末を基準とし、過去10、20、30、40年間積立てた場合の投資成果。なお、当運用戦略の各期間における投資成果の最大値、平均値、最小値は1973年3月末(運用開始日)～2021年12月末まで、積立開始月を1ヵ月ずつずらして積立てた場合の試算に基づく)

10年間積立てた場合



当運用戦略に10年間積立てた場合の投資成果

投資総額 120万円



損益の回数とその割合



20年間積立てた場合



当運用戦略に20年間積立てた場合の投資成果

投資総額 240万円



損益の回数とその割合



上記は当ファンドの実質的な主要投資対象ファンドである「キャピタル・グループ・ニューバースペクティブ・ファンド(LUX)」と同一の運用手法を用いた運用戦略の実績をもとに試算した結果であり、当ファンドの運用実績とは異なります。また、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

ニューパースペクティブ運用とは…当ファンドの実質的な主要投資対象ファンドと同一の運用手法を用いた運用戦略のことです。
 1973年に運用を開始した主に全世界の株式に投資する運用戦略です。
 (以下、当資料では「当運用戦略」という場合があります。)

3

- ニューパースペクティブ運用に毎月1万円ずつ投資した場合の以下の試算では、2021年12月末時点の評価額はいずれの積立期間においても投資総額を上回りました。
- また、積立開始月を1ヵ月ずつずらしてそれぞれの期間積立てた場合、20、30および40年間の積立期間ではすべてのケースにおいて、積立終了時の評価額は投資総額を上回りました。

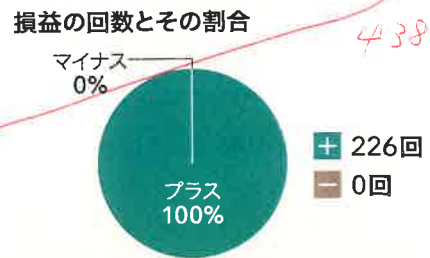
当運用戦略は購入時手数料3%および信託報酬等の費用年率1.72%(信託報酬1.54%、その他の費用0.18%)相当を控除しています。ただし、税金は考慮していません。

30年間積立てた場合



当運用戦略に30年間積立てた場合の投資成果

投資総額 360万円

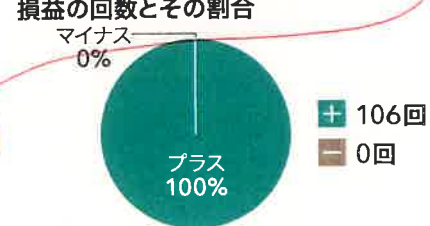
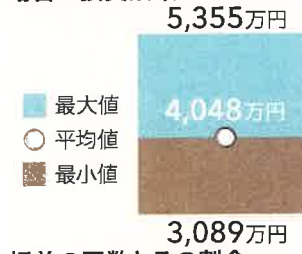


40年間積立てた場合



当運用戦略に40年間積立てた場合の投資成果

投資総額 480万円



*積立投資により購入単価が平準化して、平均購入単価を安定させる効果が期待できます。
 ※ニューパースペクティブ運用はコンポジット(円ベース)の月次リターンを用いて算出。為替ヘッジは行なっていません。
 ※全世界株式インデックスは2011年9月末以降はMSCI ACワールド・インデックス(税引後配当再投資、円ベース)、それ以前はMSCIワールド・インデックス(税引後配当再投資、円ベース)の月次リターンを用いて算出。
 出所:MSCI、リフィニティブ、キャピタル・グループ